

さて、話しは前後しますが両親は黒砂にて田畑を耕作する農家でありましたが、効果的に現金収入を得るため養豚事業に取り組み、規模拡大を図り昭和41年5月4日に株式会社 遠藤養豚場を設立する。両親の努力により衣食住のレベルアップがなされた時代でありました。

その頃の千葉の街並みはどうだったでしょうか。千葉駅が現在地に移転し駅ビルと京成千葉駅までの高架下にショッピングセンターが完成した。当時、デパートは奈良屋と扇屋ぐらいで本格的なデパートは昭和42年の千葉そごうが最初であった。県庁や市役所が建て替えられたのも、その時期だったと思います。市役所の旧庁舎は稲毛海岸の千葉トヨペット本社として移築され現存しています。

人口33万人程度の中都市であり、ホテルも京成ホテル一軒であったと思います。半世紀前の子どもの目に映った千葉市の街並みを正に徒然なるままにお話しさせて頂きました。時期的錯誤はご容赦願います。

今、お話しさせて頂きながら思いましたのは戦災復興途上の昭和26年5月30日に千葉ロータリークラブが創立され千葉にロータリームーブメントの灯を燈された先人たちの大変な努力と先見性に改めて尊敬と感謝の意を表わすものであります。

纏まらぬ話となってしまうました。今、千葉西ロータリークラブ42代会長として、先人たちの足跡を汚すこと無きよう一層の努力を重ねる所存であります。ご指導、ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

■ 卯田AGを迎えてクラブ協議会

●司会進行は前野幹事

卯田AGを迎えて、クラブ協議会を開催します。卯田AG宜しくお願い致します。

●遠藤会長挨拶

卯田AGから諸々のご指導を願い、月末に迎える青木ガバナー公式訪問でのクラブ協議会にむけて勉強できることを願っています。

●卯田AG

今日は、AGとしてのクラブ指導は考えていない。クラブ運営はRIとの対等な関係から成り立っていることを基本にして考えてほしい。

クラブ委員長との委員会活動方針での確認事項は時間の無駄であり、委員長や参加された方との質疑応答に重点をおきたい。委員会活動の方針は活動計画書から既に把握できている。

千葉西RCは活発な委員会活動をされており、活動計画書も立派な内容である。クラブ会長も3年先まで決まっていることは評価できる。歴史的には千葉港RC・千葉東RC・千葉若潮RCと3つのクラブ拡大をされ、ロータリー財団と米山記念奨学会への寄付額も高く、姉妹クラブとの活動も継続的に活発にされ、子弟交流や書画交流の実績に敬意を表します。併せて同好会の活動も盛んであり活気のあるクラブとして評価しています。



●Q&A・質疑応答

Q卯田AG 会長の行動指針である「感謝と誇り」は青木ガバナーの活動構想指針である「感謝と挑戦」と関連させているのでしょうか？ 渡邊広報情報委員長さんはどのように受け止めていますか。

A渡邊 クラブ運営や奉仕活動の活発な実績については、先人達の努力と活動があったからであり、クラブの現会員は歴史的な活動の積み重ねに甘えている現実を感じている。

Q卯田AG 親睦活動委員長の白井さんは如何でしょうか？

A白井 若い会員の活動には制約がある。現役世代として業務的な制約も重なりクラブ運営から離れがちになり、おのずとロータリーの理解もできなく魅力も感じ取れないまま退会に結びつく気がしている。

Q卯田AG 古い会員と新しい会員の考え方に違いがあるのは、どのように解釈したらよいだろうか？R財団委員長の野口正夫さんは直前会長でもあり、経験を話してください。

A野口 古い会員は出席を義務として受け止めているが、新しい会員は仕事優先になってしまう現実があるのは事実です。2月に行われた40周年記念事業でも如実に感じるがあった。全員が参加し構成できるクラブ運営を期待する。世代間の継承ができなければ、次世代への橋渡しが難しくなると思う。

Q卯田AG 40周年記念事業実行委員会を経験された、西川さんはどのように感じていますか？

A西川 40周年行事でも、ものすごく世代間ギャップを感じた。古い会員の活躍に助けられたことで何とか成功に結びつけることができた。若い会員は義務を履行することに責任を感じるべきだ。そのためにも理解度を深める環境が大切だと感じている。今回の規定審議会で定款の厳しさが薄れることは、一層責任感が無くなることを心配してしまう。

Q卯田AG 新会員へのオリエンテーションはされていますか？

A遠藤 充分にはされていないが研修リーダーも任命し、その効果ができるようにしたい。

Q卯田AG 川島教昭会員が大勢新会員を入会させたが、中には退会された人もいたが・・・クラブ奉仕委員長の花光さんはどのように受け止めていますか？

A花光 多くの会員が増強されても、十分な指導ができていないし、様々なロータリー情報の伝達がされていない。新入会員としてもロータリーを良く理解できないまま、誇りも感じ取ることができなく退会されている現実を感じる。基本的なロータリーのイロハの伝道ができる新人会員の教育が必要だと思う。例会を有意義にして効果的な情報伝達ができることを願う。新入会員もロータリー情報を知る努力をしてほしい。

Q卯田AG 会員増強の手法は工夫していますか？会員増強委員長の川城さん如何ですか？

A川城 私も川島教昭さんの紹介で入会させてもらった。クラブに親しむほどにロータリーの魅力を感じてきて、今では例会の楽しさが強く感じるようになった。4月にあった地区研修・協議会の分科会で経験したのですが、「毎例会からは信頼できる仲間づくりができる」とのバスターガバナー講話が良く理解できてきた。会員増強委員会としては是非とも、純増3名を達成させることが可能と考えている。仲間同士が切磋琢磨しあえるクラブにしたい。

Q卯田AG 千葉RCが80名を突破して目下増強中だが参考にしたいですね。さて千葉西RCの今後に向けての課題は何かありますか？米山記念奨学委員長の今野さん如何ですか？

A今野 私が入会した時のクラブは盛会で幅広くコミュニケーションが取れていたように思う。現在を思うと、若い会員とのコミュニケーションが不足しているのも、先輩としても積極的にその役割を果たしていきたい。新しい会員の方も積極的になり責任を果たす気概をもってほしい。立場上その環境構築を果たす責任を感じる。

Q卯田AG 青少年委員長の須藤さんはどのように感じていますか？

A須藤 一昨年度の例会では、抽選をして着席テーブルを決めていたので、毎週違った仲間との会話が楽しめたが、昨年も今年もその楽しみが無い。沢山の会員とコミュニケーションをはかる良いプランだと思うので、今後も継続してほしい。

Q卯田AG 座席の固定化はどここのクラブでも問題になっています。社会奉仕委員長の花澤さんはどのようにお考えでしょうか？

A花澤 入会した時は、時間のある金持ちが入会するクラブと受けとめていた時があった。活動に精魂を込めたいが健康の心配もあり十分に活動できていない。役員構成をするときには、委員長の年齢や健康状態を考慮すべきだと思う。